

鎌総第1080号

令和7年(2025年)7月10日

鎌倉市議会議長

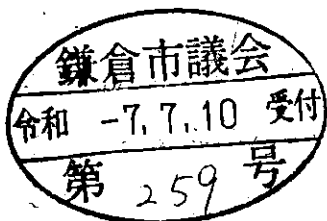
中澤 克之 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242・2243)

議会受付番号	文書質問第7号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (共生共創部秘書課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第7号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

6月28日未明水道管が破損して、一時道路の通行止めになり約1万件が断水した。

私も1日動き回っていたが、市役所本庁舎付近で副市長と各部長はお見かけしたが、松尾市長はお見かけしなかった。市長はこの日1日何処で何をされていたのか？鎌倉市内にいたのか？役所において指揮をとっていたのか？

また、防災会議は開かれていないと聞きましたが、何故開かれなかったのか？全体的に指揮命令がきちんと下りていなかったのではないかと、という印象を持ったが、神奈川県と誰がどういった連携をとり対応していたのか？どういったやり方で指揮命令を下していたのか？お伺いする。

2 質問の理由

今後の為にもこういった事態の時の対応をきちんととれるようにする為。

3 答弁を求めるもの

市長

4 答弁

被害が発生した当日、私は休暇で市外にいましたが、水道管破損の第一報（28日1時52分）を受けて以降、2名の副市長とともに状況を把握し、災害対策本部メンバー（庁内部長級職員）と状況を共有するとともに対応を行いました。私が不在であったことから災害対策本部の副本部長である（千田）副市長に現場での指揮を任せ、逐次報告を受け、必要に応じて指示を行うといった対応をいたしました。

なお、災害対策本部は設置しませんでした。それに準じた体制をとり、理事者及び全部長を中心に関係職員間の情報共有ツール（LINEWORKS、ChatLuck）等を活用し、情報共有・対応の検討・指示等を行い、7時40分と13時30分には、オンライン会議を開催し、私も出席して対応いたしました。

具体的には、両副市長が災害対策本部室に詰め、状況を適宜確認し、私及び各部長と連絡を取りながら、現場対応や広報、給水活動、コールセンター設置など、職員を参集し、対応にあたりました。

神奈川県との連携については、総合防災課が県企業庁鎌倉水道営業所と情報共有や対応の調整を行うとともに、県くらし安全防災局と情報共有し、連携を図りました。

私が不在にしていたことで現実的な対応に特段支障はなかったと認識しておりますが、復旧の見通しが立たず被害拡大の可能性が否定できない状況にあって皆様が大変な思いをされている中、不在にしていたことにつきまして、自分自身の危機管理のあり方を深く反省しており、お詫

び申し上げます。また、酷暑の中、市民をはじめ、多くの方々の御協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。